

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

## わくわく体験塾 ～ケーキ作り～

12月20日、わくわく体験塾は文化センターさざ波で8回目の体験活動「ケーキ作り」を実施しました。この日は33名の塾生が出席し、クリスマスに向けて6号（18cm）のケーキを作りました。

時間が短く、全員のスポンジを焼くところからは出来ません。そこで、今回はお店でよく売っているサンドケーキを使っただけのアレンジレシピです。本当はイチゴでサンタさんも作りたかったのですが、イチゴ高くて…。



作り方を教えてもらっている様子



完成したケーキ①



完成したケーキ②

バニラスポンジとチョコスポンジのサンドイッチになったケーキができました。植物性のクリームとフルーツ缶でさっぱりと食べやすいケーキです。良い子のみなさんにサンタさん来たてでしょうか。

明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

## 第50回町民300歳バレーボール大会

12月7日に第50回町民300歳バレーボール大会が中湧別総合体育館にて開催され、各自治体から約90名（6チーム）が集まりました。

大会に向けては、チーム9人の年齢の合計が300歳以上になるようにチーム編成を行い、1週間ほど前からそれぞれ練習を行い本番に挑んでいます。

予選ブロックは、A・Bブロックに分かれ、3チームずつの総当たり戦を実施。Aブロックでは、「錦町・登栄床チーム」、「屯市Aチーム」が決勝トーナメントへ進出。Bブロックでは「屯市Bチーム」、「南町チーム」が決勝トーナメントへ進出を決めました。

決勝戦の「錦町・登栄床チーム」対「屯市Bチーム」の試合では、粘りのあるプレーなどレベルの高い試合に歓声が響き渡り、自治会の垣根を越えて交流を深めることができました。



予選ブロックの様子  
南町チーム 対 北町・中町チーム



決勝戦の様子  
錦町・登栄床チーム 対 屯市Bチーム

大会結果	
優勝	錦町・登栄床チーム
準優勝	屯市Bチーム
第3位	屯市Aチーム
	南町チーム

明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

**第7回チャレンジスポーツスクール（バスケットボール2）**

12月6日に行われた第7回目の活動は、前回に続いてバスケットボールを実施しました。レバング北海道の安宅アカデミーコーチが特別講師として来てくださり、23名の児童が参加しました。

ドリブルやシュートの練習はもちろん、遊びながら楽しめるプログラムも取り入れてくれて、参加児童はみんな終始笑顔でした。ドリブルがちょっと苦手な子には、ルールを少しアレンジして、楽しくできるよう工夫してくれました。そのおかげで、みんなが一緒に遊びながらバスケットボールを満喫することができました。



試合中の様子

**「わくわくゆうふいっと。」～No.5～ 運動指導職員 **三浦 茉畝****

\*11月・12月の「ゆうふいっと。」「ゆうふいっと。プラス」はこんなことしました\*

**1) 「ゆうふいっと。」～背中・お腹を鍛え猫背改善～**

ストレッチで体の可動域を広げ正しい姿勢で背中・お腹の周りのトレーニングを行いました。特に成果が見られたのが、胸椎の周りのストレッチです。胸の開きがよくなり姿勢改善されました。



ストレッチの様子

**2) 「ゆうふいっと。プラス」～体幹力と基礎代謝アップ90分トレーニング～**

呼吸法、シットアップなど上体を起こしてくるような腹筋運動、また、代謝を高める大筋群に対してのトレーニング方法を学びました。参加者からはやりごたえのあるトレーニング内容だったとの声が多くありました。

冬場の運動は、動き出しが一番大事です。体が温まるまでは、無理せず、ゆっくりとした動きから始めましょう。



ホームページ

高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう ～高齢者教育推進目標～

## チューリップ生きがい大学【クラブ活動発表会】

チューリップ生きがい大学は12月3日にクラブ活動発表会を実施しました。今年も「大正琴」「カラオケ」「合唱」「リズムダンス」の4クラブの芸能発表と「書道」「花あそび」の2クラブの作品展示を行いました。

今年は、町外の方や来賓・学生・一般参観者合わせて79名の参加があり、来賓には加藤町長をはじめ、日頃からクラブ活動を指導いただいている谷藤先生（合唱）、金川先生（合唱、大正琴）も遠軽町から駆けつけて下さいました。

日頃の練習の成果を発揮した素晴らしい演奏やダンス、合唱やカラオケに会場の皆さんもリズムをとったり、手拍子をするなど充実した時間を過ごしました。



大正琴の様子

芸術・文化は未来を生きるヒント 創造力と豊かな心を育てよう

## e-スポーツプログラミング教室「Minecraft (マイクラフト)」が開催されました

12月21日、町内義務教育学校の4年生～9年生を対象に、プログラミング教室が文化センターTOMで開催され、13名が参加しました。ゲームソフト「マイクラフト」を使いプログラミングの基礎を楽しく学ぶ内容で、ジュニアの部（4年生～6年生）は講師特製ステージで脱出ゲームに挑戦しヒントをもらいながら全員が成功しました。

ティーンズの部（7年生～9年生）では、グループでチューリップ公園の再現に取り組み、花壇や風車、チューピット号の作成にも挑戦しました。



プレイ中の様子

リレーエッセイ

### 社会教育委員さんのある一日 第181回

わたしの朝は、甘えん坊の4歳と2歳の怪獣の「ママー！」でスタート。

目覚ましより正確で、しかも絶対に止められない。「靴下はいてー」「帽子かぶってー」と毎朝同じやりとりを繰り返し、自分の身支度は後回し。それでも今日はまあ合格、と思うことにして一日が動き出す。

近所のお店屋さんや、お寺に来て下さる方が子ども達に「大きくなったね」と声をかけてくれる。泣いても騒いでも、「元気でいいね」と笑ってもらえる。すこし肩の力が抜けて、この場所で子育てしてよかったなと思える瞬間だと思う。お寺での子育ては、たくさんの人に見守られていて、地域と一緒に子どもを育てている感覚だ。毎日はバタバタ。憧れる【丁寧な暮らし】には程遠い。けれど、地域とゆるくつながりながら、子どもと育つこの慌ただしい日々を結構気に入っている。

この町のそれぞれの場所で、似たような1日が続いているのかもしれない。今日も、明日も。そんな一日。

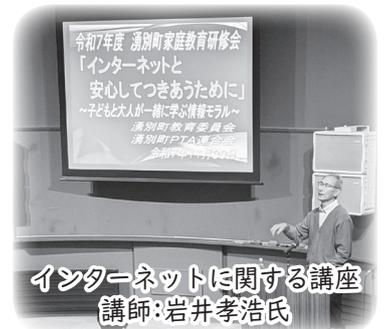
社会教育委員 米本 志真

子どもは町の宝 手を取り合い、支えあって育てよう ～家庭教育推進目標～

## 「家庭教育研修会」が文化センターTOMで行われました

11月30日、イワイ書店の岩井孝浩氏、柴田建設の柴田裕次郎氏を講師に迎え、家庭教育研修会を実施しました。今年は、岩井さんによるメディア利用についての講話と、柴田さんによる親子木工教室の二本立てです。

岩井さんには「インターネットと安心してつきあうために」と題して、ネットの仕組みやモラルなどの話をさせていただきました。親子で聞いて欲しい内容が盛りだくさんで、予定していた時間があっという間に終了しました。

インターネットに関する講座  
講師：岩井孝浩氏親子木工教室「インテリア3段ラック」  
講師：柴田裕次郎氏

柴田さんの親子木工教室「インテリア3段ラック」の作製では、柴田建設の従業員の皆様にもお手伝いいただき、クオリティーの高い木工作品が完成しました。材料を多めに準備していただきましたので、高学年の児童は自分専用のラックを作ることができました。



全体写真

## 就学援助制度のお知らせ

経済的理由により、お子様に義務教育を受けさせることが困難な保護者の方へ、学用品などの経費を援助する制度があります。

対象となる方は、湧別町内にお住まいで、世帯の収入状況が生活保護の基準とほぼ同程度の方です。

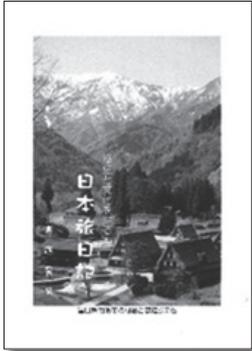
援助を希望される方は、現在通学している義務教育学校、もしくは教育委員会教育総務課にお申し出の上、必要書類を提出してください。

なお、不明な点がございましたら、教育総務課学校教育グループにお問い合わせください。

連絡先 教育総務課学校教育グループ 電話5-3143

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう ～図書館活動推進目標～

## 新しく受入れた「郷土資料」をご紹介します。



「日本旅日記」  
～歴史と文化を巡る～  
嘉藤晃男／著

嘉藤さんは、今までご自身で撮影した写真に文章を加え、「ちょっとそこまで」というシリーズで自費出版してきました。

平成31年から、「日本の歴史と文化を巡る旅」と題して日本遺産を中心に、各地の史跡や名勝を旅し、自分の目で見て感じたことをまとめてきました。

このたび、これまでの旅を振り返り、「日本旅日記」として1冊の本が誕生しました。この本を手に取り、嘉藤さんと一緒に「日本旅」に出かけましょう！いつもの生活から離れ、行ったことのない各地の史跡、名勝を楽しみましょう。そんな旅ができるのも、「読書」の醍醐味です。



「片羽鳥と四羽のヒナ」  
～満州からの引揚げ記～  
佐藤トミノ／著  
佐藤 憲治／著

この本は、戦後、命がけで満州から北海道へ引き揚げた、ある家族の物語です。その一部に、湧別での暮らしが描かれています。(P85～P111、P208)

故・佐藤トミノさんは、60代の頃、日課として、夕食後に取り組んでいたことがありました。それは、戦死した夫へ手紙を書くことです。夫が目にするができなかったエピソードや情景を、コツコツとノートに書き綴っていました。トミノさんが亡くなると、長男・佐藤憲治さんが、そのノートをワープロで打ち込み小冊子にまとめました。

さらに、憲治さんは、幼いころの記憶をたどり、自身の暮らしぶりをスケッチし、エピソードも加えてまとめました。

このたび、おふたりの記録が1冊の本となり、自費出版されました。当館にご寄贈いただきましたので、ぜひ、ご覧ください。

## 2月の図書館休館日

2月2日(月)、3日(火)、9日(月)、16日(月)、23日(月)

\*図書整理日(月末日)は休館日です。(月末日が土曜日・日曜日の場合は翌火曜日です。)

\*図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10時00分 から18時00分

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。 【貸出期間】 2週間

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150 湧別図書館 電話 5-3122

lib-n@town.yubetsu.lg.jp lib-y@town.yubetsu.lg.jp

## 博物館シリーズ

- 市街地の写真1 -

## 湧別市街地のはじまり

## 博物館だより

- ふるさと館JRY・郷土館 -

【192号】

現在、資料のデジタル化作業中です。今回は「街並の写真」を紹介します。町内の街並を撮影した最古の写真は、現在のところ、明治45年（1912）発行「北見之富源」という書籍に掲載された写真です。



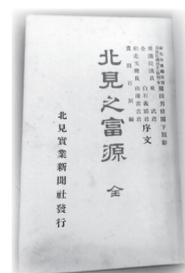
湧別濱市街地

湧別濱市街地の最古の写真

現在の港町から内陸に向かって撮影した写真。当時は町内にまだ写真館はありません。そのため、最古の街並写真がこの書籍の掲載写真ということになります。明治44年（1911）頃、都市部から来た写真館で撮影したと考えられます。

ここで注目していただきたいのは、右側の「湧別濱（浜）市街地」という表記です。この頃、基線（国道）を中心とした湧別町の市街地は下の表のようになっており、明治44年頃には3つの市街地があったのです。そのために、「浜市街地」と表記されたと考えられます。

市街地名	発達したおよその時期	発達した主な理由
① 浜市街地	明治29年（1896）～	屯田兵村工事
② 屯田市街地	明治30年（1897）～	兵村の開村
③ 四号線市街地	明治31年（1898）～	紋別湧別間の道路の開通
④ 中湧別市街地	大正 5年（1916）～	鉄道開通



『北見之富源』

## 湧別町生涯学習情報「湧く湧く」 2026年1月号 No.192

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099 - 6404 北海道紋別郡湧別町栄町219 - 1  
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…林印刷所（中湧別北町）発行…令和8年1月26日

記事へのお問合せは下記へ

\*社会教育課社会教育グループ…電話：01586 - 5 - 3132 FAX：01586 - 5 - 3710  
 メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

\*湧別図書館……………電話：01586 - 5 - 3122 FAX：01586 - 5 - 3256

\*中湧別図書館……………電話：01586 - 2 - 3150 FAX：01586 - 2 - 3190

\*ふるさと館JRY……………電話：01586 - 2 - 3000 FAX：01586 - 2 - 3200